

## 尼崎市の個別避難計画の試行的な取組状況について(令和4年12月末現在)

地区名	支援対象者数	取組の概要	支援関係者	主な成果	主な課題	地域への働きかけ	計画作成数
A	・90代、要支援1 ・80代、要支援2、独居高齢者	R3:1人 R4:1人 ①連協会議で対象者選定 ②勉強会 ③対象者アセスメント ④計画作成 ⑤訓練及び振り返り	・連協会長・単組会長 ・民生児童委員 ・別居家族 ・地域包括・担当CM ・市社協	・地域住民自身が地域の災害リスクを知り、防災意識が高まった。 ・自主防災組織と地域包括等の専門職の知り合うきっかけとなった。	・自主防災組織を中心とした取組は、その会長への理解が必要となる。 ・町会役員等からは、町会未加入者への対応の理解が得られにくい。	39h (33回)	2件
B	・独居高齢者1人 ・要支援高齢者5人(うち透析1) ・同居高齢者2人	R3:8人(5世帯) ①連協会議で対象者選定 ②連協会長が対象者に計画を配付し、計画作成 ③対象者アセスメント ④訓練及び振り返り	・単組会長、役員 ・民生児童委員 ・見守り推進員 ・見守り協力員 ・地域包括、担当CM ・市社協	・地域住民と福祉専門職、当事者との間で緊急連絡網が作成された ・当事者を交えた避難訓練が実施されるとともに、支援関係者が介助方法を学ぶきっかけとなった。 ・日頃から知っている当事者であれば、地域住民の協力得られやすく、日頃のつながりの重要性が再認識できた。	・対象者の特性に応じて複数の支援関係者との調整や、それぞれの協力意識を醸成するためには時間をかけた丁寧な働きかけが必要 ・地域住民の負担感を軽減するためにも、平時の顔の見える関係の構築が必要	32h (21回)	8件
C	20代、療育A	R3:1人 ①勉強会 ②計画作成 ③訓練及び振り返り	・単組役員 ・民生児童委員 ・婦人会 ・マンション管理人 ・施設職員 ・市社協	・当事者が避難物資を購入するなど、防災意識が高まった。 ・引き続き、個別避難計画作成の取組を広げることとなった。	・重度障害者の場合、地域住民だけではの直接の避難支援は困難 ・当事者の身体状況等が変化した時の計画更新作業の検討が必要	14h (14回)	1件
D	名簿掲載者約30名に対し、連協会長が意向調査	R4:30人 ①連協会長と打合せ ②連協会議にて説明 ③計画作成の呼びかけチラシを作成し、連協会長を通じて計画様式の配付	・連協会長 ・単組会長 ・民生児童委員 ・地域団体 ・市社協	・会長が若い世代(30.40代)への参加の声掛けを行い、参加した。 ・地域リーダー(連協会長)の理解を得ることで、リーダー自身が計画の配布・回収をすることで効率的な作成が可能。	・連協会長が地域住民に計画の説明と理解を得るのに時間を要する ・新型コロナウイルス感染症の蔓延により、福祉協会の協力や関係者が一堂に会して話し合う機会を作るのが難しく、当初のスケジュール通りに進まない。	10h (10回)	2件 予定
E	独居高齢者等	R4:5人 ①連協にて説明 ②連協会長とのスケジュールの打合せ ③勉強会 ④対象者アセスメント	・連協会長、役員 ・地域包括、担当CM ・民生児童委員 ・市社協	・担い手不足である地域と大学との新たなつながりが出来た。 ・説明や勉強会を複数回実施したことにより、地域の方に災害時の支援の必要性を理解してもらえた。	・USBメモリの紛失事案の影響で、個人情報の取扱に不安があり、計画作成に消極的な対象者がいるため、丁寧な説明が必要。	19h (11回)	3件 予定

## 検証結果

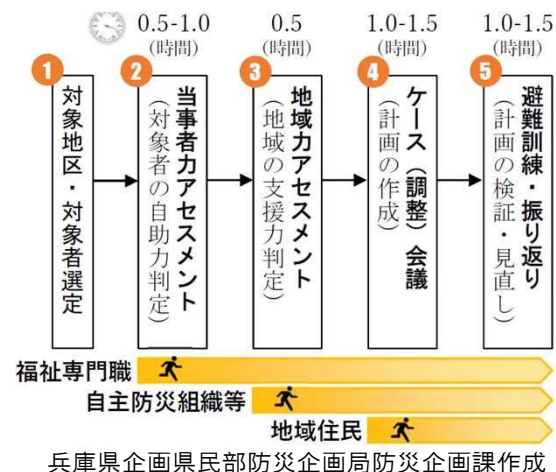
- ① 地域住民や専門職の協力を得るには、兵庫県の想定よりも時間がかかるものの、丁寧な働きかけにより地域住民等の理解が得られると、地域のリーダー主導で効率的な作成が可能。
- ② 個別避難計画の作成を通じて、地域住民と、当事者、専門職との関係性が育まれることで、日頃からの地域での見守りや、緊急時の連絡体制の構築が期待できる。

### 【試行的な計画作成の流れと、所要時間】

- (1) 対象地区・対象者の選定(対象地区への説明、対象者の抽出)  
→ 協力を得るための説明等 計48回 平均9.6回・10h/地区  
→ 5地区 約46人を抽出
- (2) 自主防災会等への災害理解研修の実施  
→ 4地区 計10回 平均2.5回・2.5h/地区
- (3) 対象者及びその家族へのアセスメントの実施  
→ 4地区 12人を対象に計12回 平均1h/人
- (4) 自主防災会及び福祉専門職等による計画策定会議  
→ 4地区 12人を対象に計12回 平均1.5h/人
- (5) 計画に基づく避難訓練及び振り返りの実施  
→ 3地区 5人を対象に計13回 平均2.6回・4.7h/人

### (参考)県モデルの流れ・所要時間等

1ケース作成所要時間:3~4.5h



3地区/5地区 11人/46人計画作成

3地区平均約18回打合せ 1ケース作成平均所要時間:約20h